

# 第26回群馬県老人保健施設大会

## 特別講演

# 『おひとりさまの最期』

講師 <sup>うえ の ち づ こ</sup> **上野 千鶴子 先生**

社会学者・立命館大学特別招聘教授・東京大学名誉教授・  
認定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク (WAN) 理事長

『おひとりさまの老後』を出してから9年。その後、おひとりさまは増える一方です。私も、親しかった友人の死を身近に経験して、「そうか、死は遠くにあるんじゃなくて、隣にあるんだ」という気持ちになりました。そして「次はいよいよ私の番だ!!」。ではおひとりさまの私はどのように住み慣れた家での「在宅死」ができるのか？ひとりで死んでも「孤独死」とは呼ばれたくない。…

当事者の切実な問いをたずさえて、医療・介護・看護の現場で疑問を投げかけながら、体当たりの取材を積み重ねました。死の臨床の常識は変わり、従来の介護を支える家族は、どうも当てにならないことが実態のようです。「在宅ひとり死」を可能にする現実的な必要条件を多方面に取材し、研究した超高齢社会のお話です。



撮影：菅野勝男

### 【学歴・職歴】

1948年富山県生まれ。京都大学大学院社会学博士課程修了、平安女学院短期大学助教授、シカゴ大学人類学部客員研究員、京都精華大学助教授、国際日本文化研究センター客員助教授、ボン大学客員教授、コロンビア大学客員教授、メキシコ大学院大学客員教授等を経る。1993年東京大学文学部助教授（社会学）、1995年から2011年3月まで、東京大学大学院人文社会系研究科教授。2011年4月から認定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク (WAN) 理事長。

専門は女性学、ジェンダー研究。この分野のパイオニアであり、指導的な理論家のひとり。高齢者の介護問題にも関わっている。

### 【受賞歴】

1994年 『近代家族の成立と終焉』でサントリー学芸賞  
2012年 2011年朝日賞

### 【著書】

『近代家族の成立と終焉』（岩波書店 1994年）  
『家族を容れるハコ 家族を超えるハコ』（平凡社 2002年）  
『老いる準備—介護することされること』（学陽書房 2005年）  
『おひとりさまの老後』（法研 2007年）  
『男おひとりさま道』（法研 2009年）  
『おひとりさまの最期』（朝日新聞出版 2015年） など多数

日 時／平成28年11月12日(土)

14:10～15:40

会 場／群馬音楽センター 1階大ホール

入場料／無料（駐車料金をご負担下さい。）

主 催／公益社団法人群馬県老人保健施設協会